



イチゴ編

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

2012年2月作成



灰色かび病防除特集

灰色かび病の発生しやすい時期です。
圃場での発生状況を常に確認し発生初期に防除するように心掛けましょう。

灰色かび病 *Botrytis cinerea*

【発病条件】・菌は5～30℃で生育、最適温度は20℃前後。湿度が高いと発病しやすい。

- ・曇雨天時(日中湿度95%、気温15～20℃)は特に注意！
- ・周囲への伝染: 発病した病斑部から健全株へ伝染する。

【周囲への伝染】・分生子は晴天の日はほとんど飛散せず曇雨天の翌日に飛散する。

- ・特に午前8時～11時頃の飛散数が多い。

おすすめローテーション(灰色かび病・アザミウマ類)

灰色かび病

ロブラール500アクア 灰色かび病: 1000～1500倍(前日/4回 ハチ3日) 予
 モスピラン水溶剤 アブラムシ類: 2000～4000倍
 アザミウマ類、コナジラミ類: 2000倍 (前日/2回 ハチ1日)

アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類

天敵に影響あり(卵)

うどんこ病 灰色かび病

フルピカフロアブル 2000～3000倍 前日/3回 予
 ウララDF 2000～4000倍(前日/2回 ハチ0日 天敵影響なし)※コナジラミ: 2,000倍

アブラムシ類、コナジラミ類 同時防除

うどんこ病 灰色かび病

アフェットフロアブル 2000倍(前日/3回) 予
 マッチ乳剤 ミンキイロアザミウマ: 1000～2000倍 (前日/4回 ハチ1日天敵影響なし)※ハスモンヨトウ: 3000倍

ミンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ

ハダニの防除に天敵を導入しましょう！



スパイテックス

★最低気温が5℃以上あり、ハダニが増加する前の2～3月上旬の導入がおすすめです！
導入前にはご相談ください！

1月	2月	3月	4月
	スパイテックス		

1～3本 /10a

